



地方創生～アフターコロナの新しい形～

実装に入った地方創生 具体的事例から考える持続可能な経済循環

P R O G R A M

日時 2020年 10月5日(月) 10:00-18:10

主催/日本経済新聞社 後援/内閣府 環境省
協賛/清水建設 中小企業基盤整備機構 SBIグループ NECキャピタルソリューション

※講演者・講演内容・タイムスケジュールは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

セッション1

グリーンインフラ・地域循環共生圏で実現する地方創生

10:00-10:30

基調講演

テーマ「風の谷プロジェクトとグリーンインフラの可能性」

安宅 和人氏 慶應義塾大学 環境情報学部 教授



ヤフー CSO (チーフストラテジーオフィサー)、データサイエンティスト協会理事。マッキンゼーを経て、2008年からヤフー。前職のマッキンゼーではマーケティング研究グループのアジア太平洋地域中心メンバーの一人として幅広い商品・事業開発、ブランド再生に関わる。

ヤフーでは2012年よりCSO。途中データ及び研究開発部門も統括。2016年より慶應義塾SFCでデータサイエンスを教え、2018年秋より現職(現兼務)。イェール大学脳神経科学PhD。内閣府CSTI基本計画専門調査会委員、同 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定

制度検討会 副座長などデータ×AI時代での変革をテーマにした政府委員を多く務める。
著書に『イシューからはじめよ』(英治出版、2010)、『シン・ニホン』(ニューズピックス、2020)。

10:30-12:30

パネルディスカッション

テーマ「withコロナ時代の自然資本を生かした地域振興のあり方」

●パネリスト



斎藤 洋明氏 衆議院議員

新潟県村上市生まれ。県立中条高校を卒業し、学習院大学、神戸大学大学院を修了後、国家公務員I種試験に合格し、公正取引委員会に入局。内閣府職員を経て

退官後、2012年の衆議院で初当選。3期目をかけた2017年第48回衆院選では50票差で小選挙区当選を逃し、比例当選。

2019年9月～2020年9月
第4次安倍第2次改造内閣 総務大臣政務官



佐々木 真二郎氏 環境省 大臣官房 環境計画課 企画調査室長

環境省レンジャーとして、国立公園や世界自然遺産の保全管理、希少野生生物の保護を担当。東日本大震災では、自然環境を活かして復興に貢献する「グリーン復興プロジェクト」として、みちのく潮

風トレイルの整備などにかかわる。現場では、阿蘇くじゅう国立公園の管理や、長崎県対馬のツシヤママネコの保護増殖事業を担当。また、2017年から2019年まで福井県自然環境課長として、年縮

(ねんこう)博物館の建設、コウノトリの野生復帰事業や自然再生事業を担当。2020年7月より現職。

安宅 和人氏 慶應義塾大学 環境情報学部 教授



太田 景子氏 気象予報士

セント・フォース所属。NHK勤務などを経て、2014年からテレビ朝日に活動の場を移す。テレビ朝日系「グッド!モーニング」「サンデーLIVE!!」などで気象解説を行いながら、気候変動枠組条約締約国会議(COP)や途上国などの現地へ足を運び海外取材も行う気候変動ジャー

ナリスト。昨年、COP25のJAPANバピリオンでは日本人気象予報士として近年の国内における気候危機をスピーチした。持続可能な自然共生基盤からあらゆる社会課題を解決するNature Based Solutionの実装を目指し、市民新電力の記者会見司会など、環境・エネルギーに

関する循環型の地域創生を様々な形で発信・支援している。
グリーンインフラ研究会、国交省GIPF企画広報幹事、防災危機管理者でもある。1984年静岡県生まれ。



北栄 階一氏 日本政策投資銀行 地域企画部課長

2005年 日本政策投資銀行入行。
PEファンド出向、都市開発部、関西支店
都市開発課にて公共交通、都市開発プロ
ジェクトへの投融資などに携わった後、

現在日本政策投資銀行地域企画部課長。
グリーンインフラを活用した地方創生、
まちづくりのほか、グリーンインフラの
もたらすインパクトに着目したファイナ

ンスなどに取り組む。
国土交通省「グリーンインフラ官民連携
プラットフォーム」運営委員・金融部会
長を務める。福岡県出身。



竹内 和也氏 三菱地所 エリアマネジメント企画部 専任部長

1992年 三菱地所入社、社会環境部、環
境・CSR推進部、開発推進部などを経て、
現職及び、大丸有環境共生型まちづくり

推進協会（エコツヴェリア協会）専務理
事。

●コーディネーター



西田 貴明氏 京都産業大学 生命科学部産業生命科学科 准教授

京都生まれ、京都府立大学卒業、京都大
学大学院理学研究科修了。理学（博士）。
2009年より三菱UFJリサーチ&コンサル
ティングにて、生物多様性など、自然
環境分野の政策調査や事業支援を担当。

グリーンインフラに関する政策形成に向
けた検討や調査研究にも多数参画。
2019年より現職。
また、三菱UFJリサーチ&コンサルティ
ング 客員研究員、徳島大学防災環境研

究センター客員准教授。グリーンインフ
ラ官民連携プラットフォーム運営委員、
同企画・広報部会長。

セッション2 ワークーションと地方創生

13:30-14:00

基調講演

テーマ「ワークーションで推進する地方創生」



平 将明氏 衆議院議員

1967年東京生まれ、早稲田実業学校中
高、早稲田大学法学部卒。
家業の大田市場青果仲卸山邦社長、東京
青年会議所理事長、経済産業省産業構造
審議会基本政策部会委員などを経て、

2005年自民党衆議院東京4区の公募に応
募、公認候補に選出され立候補、初当選、
現在5期目。
前内閣府副大臣(IT政策・行政改革・防災・
宇宙等担当) 元衆議院環境委員会委員長

元内閣府副大臣（地域創生・国家戦略特
区等担当）、元自民党副幹事長・情報調
査局長、元経済産業大臣政務官、元慶應
大学大学院講師。

14:00-15:30

パネルディスカッション

テーマ「ワークーションと地方創生」

●環境大臣メッセージ



小泉 進次郎氏 環境大臣 兼 内閣府特命担当大臣（原子力防災）

1981年神奈川県横須賀市生まれ。関東
学院大学経済学部卒業後、2006年米国
コロンビア大学院政治学部修士号取得。
米国戦略国際問題研究所（CSIS）研究
員を経て、衆議院議員小泉純一郎氏秘書
を務めた後、2009年8月衆議院議員初
当選し現在4期目。

2011年、自民党青年局長に就任。
2013年に内閣府大臣政務官 兼 復興大
臣政務官に就任し、東日本大震災からの
復興に全力を尽くす。2015年、自民党
農林部会長として農政改革に取り組む。
2018年10月、自民党厚生労働部会長
として人生100年時代に向けた新たな

社会保障の実現に取り組む。2019年9
月、環境大臣 兼 内閣府特命担当大臣（原
子力防災）に就任。2020年9月、環境
大臣 兼 内閣府特命担当大臣（原子力防
災）に再任。

●パネリスト



平 将明氏 衆議院議員

熊倉 基之氏 環境省 自然環境局 国立公園課長

1970年東京都出身。1994年早大政経
卒。同年環境庁（現環境省）入庁。滋賀
県自然環境保全課長、環境省フロン対策

室長、指定廃棄物担当室長、環境影響評
価課長を経て、2019年7月より現職。



白石 武博氏 カヌチャベイリゾート 代表取締役社長

1962年生まれ。沖縄県出身。早稲田大
学卒業後、沖縄銀行へ入社。その後ハワ
イパシフィック大学で専門的に観光を学
ぶ。2005年カヌチャベイリゾート代表
取締役社長就任。その他、ホット沖縄、
ホット沖縄総合研究所にて代表取締役社

長を務めている。2009年ISO14001の
認証を受け、自然と人間が共生する「心
の楽園」をキーコンセプトとして環境問
題にも力を注いでいる。
沖縄県レンタカー協会会長、日本ゴルフ
ツーリズム推進協会会長、沖縄観光の未

来を考える会監事、ナハ・シー・パラダ
イス協議会理事長等も務めており、多角
的な視点で各観光産業の継続的発展を
図る活動に取り組んでいる。



大瀬良 亮氏 KabuK Style 共同代表

1983年、長崎県生まれ。2007年に筑波大学を卒業後、電通入社。在京若手県人会「しんかめ」を主宰、原爆の実相を伝える「Nagasaki Archive」

発起人として、文化庁メディア芸術祭に出展等。2015年から官邸初のソーシャルメディアスタッフに。2018年4月、つくば市

まちづくりアドバイザーに就任。2018年11月、「世界を、旅して働く。HafH」リリース。2019年9月 電通退社。

●コーディネーター／総合司会



榎戸 教子氏 BSテレ東「日経プラス10」キャスター

静岡県出身。大学時代にスペイン国立サラマンカ大学へ留学。さくらんぼテレビ、テレビ大阪のアナウンサーを経て2008

年より経済キャスターに。現在、BSテレ東「日経プラス10」（月曜～金曜夜10時～）、「NIKKEI日曜サロン」（日曜朝9時

30分～）に出演中。企業経営者や政治家へのインタビュー経験も豊富。

セッション3 ベンチャー、中堅中小企業で活性化する地方創生

15:40-16:10 基調講演

テーマ「ベンチャー、中堅中小企業で活性化する地方創生」



松尾 一久氏 中小企業基盤整備機構 創業・ベンチャー支援部 部長

1987年3月 北海道大学大学院工学研究科修了
4月 地域振興整備公団 入団
1989年4月 建設省都市局都市政策課

建設実務行政研修（1年間）
1999年4月 那覇新都心 開発計画課長
2008年4月 中小企業基盤整備機構
北海道本部 経営支援課長

2013年4月 同 北海道本部 経営支援部長
2019年7月 同 創業・ベンチャー支援部長



河原 裕美氏 スペース・バイオ・ラボラトリーズ 代表取締役

広島大学・弓削類教授の研究室にて、無重力等の物理的刺激と細胞応答の研究をしながら、2005年より同教授の広大発ベンチャー「スペース・バイオ・ラボラトリーズ」代表取締役に就任。博士（保健

学）。2011年より当社代表取締役。重力制御装置「Gravite®（グラビテ）」と歩行支援ロボット「RE-Gait®（リゲイト）」の事業化を加速中。



池田 博毅氏 JAPAN STAR 代表取締役

大学卒業後、自動車メーカーに就職し、設計・製造等の仕事に従事。その後、日本でも有数のモノ作りの中小企業が集積する東大阪市で祖父が創業したイケタメタル工業に入社。同社長就任後は既存

事業の見直しや新規事業の創出などで多額の累積赤字に苦しむ家業を立て直し、安定経営に移行した後に起業を決意する。長年研究を重ねてきた水とナノ技術で、JAPAN STARを中小企業基盤整備機構

様のクリエイション・コア東大阪に設立、ナノバブル発生機構搭載のシャワーヘッド「ナノフェミラス」を発表し、話題となる。

セッション4 ブルーカーボンが実現する地方創生

16:10-17:10 パネルディスカッション

テーマ「ブルーカーボンが実現する地方創生」

●パネリスト



桑江 朝比呂氏 ジャパンブルーエコミー技術研究組合（JBE）理事長／海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長

1993年 京都大学農学部卒業、1995年同大学大学院農学研究科修了、同年 運輸省港湾技術研究所研究官、2016年より港湾空港技術研究所沿岸環境研究グループ長（現職）。2020年よりジャパンプ

ーエコミー技術研究組合理事長（現職）。専門は浅海域の物質循環、生態系機能、自然再生、食物網、ブルーカーボン。



渡邊 敦氏 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合 理事／笹川平和財団 海洋政策研究所 主任研究員

東京大学で地理学、地球惑星科学を学び、2004年より名古屋大学大学院環境学研究科で博士研究員、2008年より東京工業大学大学院情報理工学研究科等で助教を務め、サンゴ礁や沿岸生態系における

物質循環や、気候変動や人間活動がこれらの生態系に及ぼす影響に関する研究・教育に従事する。2018年4月より笹川平和財団海洋政策研究所で主任研究員として、ブルーエコノミーやブルーカーボ

ンに関する調査、事業を推進している。ジャパンブルーエコノミー技術研究組合・理事、国際サンゴ礁協会評議員、日本サンゴ礁学会代議員。博士（理学）。



池田 陸郎氏 カーボンフリーコンサルティング 国内事業部長・デジタルグリッド再エネ推進部長／横浜グリーン購入ネットワーク事務局長

2003年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。東レを経てアウトドアフィットネスに創業入社。その後カーボンフリーコンサルティングにて省エネ・再エネ

産業や自然資源における環境価値取引システムを多数構築。横浜SDGs実装ゼミナール講師。



水野 謙二氏 大阪府阪南市長

1978年、日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科卒業。2012年、龍谷大学大学院社会学研究科福祉学専攻修了。2013年1月、阪南市社会福祉協議会事

務局長に就任。2016年4月から市長就任まで、同会長を務める。2016年11月より、現職。



岡崎 修司氏 横浜市 温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課長

1971年生まれ。九州大学大学院卒業。1997年より2002年まで三菱重工業に勤務。2002年横浜市役所入庁後、担当係長として地球温暖化対策、下水道、環境科学研究に携わる。

2008年より横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）等、環境・エネルギーに係わる取り組みを担う。複数の民間企業と連携している当該プロジェクトのマネジメントのほか、横浜市の温暖化対策

の取り組みについて、国内外への情報発信を行っている。2015年より現職。



谷口 郁美氏 横浜市スポーツ協会 トライアスロン推進課 担当課長（世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会 総務部長／メディア広報部長）

日本体育大学社会体育学科卒業、横浜市スポーツ協会トライアスロン課担当課長。



天倉 辰己氏 日生町漁業協同組合 専務理事

岡山県日生町生まれ。1984年日生町漁業共同組合に入組。1985年の当初からアマモ場再生活動に参加。2009年日生

藻場造成推進協議会（通称アマモクラブ）事務長に就任。現在は「備前市里海・里山ブランド推進協議会 with ICM」の里

海・里山ブランド商品開発部会の会長として、地域ブランドの商品開発なども手がける。

●コーディネーター



信時 正人氏 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合 理事・事務局長／神戸大学 客員教授

東京大学都市工学科卒、三菱商事（情報産業、開発建設、金融事業）、2005年日本国際博覧会協会（愛・地球博において政府出展事業【日本館及び政府主催催事】の企画・催事室長等）、東京大学大

学院特任教授を経て、横浜市（都市経営戦略担当理事、温暖化対策統括本部長、環境未来都市推進担当理事として横浜スマートシティプロジェクトや環境未来都市プロジェクトに関わる）。

現在、エックス都市研究所理事、東京ガス社外監査役、東京大学まちづくり大学院非常勤講師、横浜国立大学都市イノベーション学府客員教授、等も務める。

テーマ「食マーケティングで実現する地方創生」

●パネリスト

**佐藤 裕久氏** バルニバービ 代表取締役社長

京都市上京区生まれ。神戸市外国語大学英米語学科中退、1991年バルニバービ設立、代表取締役に就任。現在、東京・大阪をはじめ全国に92店舗(2020年8月末時点)のレストラン・カフェやスイーツショップを展開。

2018年からは食をベースとした地方創生に取り組み、2019年 淡路島西海岸沿いにてレストラン「GARB COSTA ORANGE」、2020年には「KAMOME SLOW HOTEL」を開業。同じく2020年、神奈川県三浦海岸沿いに「三浦

BEACHEND CAFÉ」を開業。淡路の魅力である「食材」「環境」「歴史」を基に、生産者をはじめ地域の方々との連携によりその土地の魅力を再発見し、人が住みたくなる本当の意味での地方「再生」に取り組む。

**大久保 伸隆氏** ミナデイン 代表取締役

1983年生まれ。千葉県出身。大学卒業後、不動産会社を経て、2007年エー・ピーカンパニー入社。店長などの現場から事業部長などを経て、2012年取締役営業本部長に就任、東証マザーズ上場、東証一部への市場変更を経験し、2014

年に副社長就任。アルバイトをやる気にもさせる独自の経営モデルは「カンプリア宮殿」「ガイアの夜明け」などに紹介される。2018年6月に退社。同年7月にミナデインを設立し、代表取締役に就任。現在は『烏森百葉』『烏森絶メシ食堂』（東

京・港区新橋)、『里山transit』（千葉・佐倉市ユーカリが丘）などを経営。飲食店の経営を通じて、まちづくりのプロデュースに乗り出す。

**山中 哲男氏** クラフィット 代表取締役社長

1982年、兵庫県生まれ。高校卒業後、数社での工場勤務を経て、炭火ゆるりを開業する。2008年、内外の関係構築をベースに新規開発、戦略立案、スキーム構築、課題解決、アライアンスなど事業創造に関わる支援や実施を行う、インブ

レス（現・トイトマ）を創業し、代表取締役に就任。同時期から米国ハワイ州で日本企業に対し海外進出支援、店舗M&A仲介、米国での事業開発支援にも従事する。2019年、臍帯などヒト組織由来の幹細胞の研究開発・製造・販売を

する、ヒューマンライフコード社の社外取締役に就任。2019年、地域活性化を目的とするコンテンツ開発(飲食店や宿泊施設等)・運営・投資スキームの構築を行う、クラフィット 代表取締役社長に就任。

**藤田 直人氏** NECキャピタルソリューション 執行役員 地域活性化推進部担当

大学卒業後、金融会社を経て2009年NECキャピタルソリューション入社。2016年4月より執行役員、各種ファイナンス案件(MBO・LBO・ストラクチャードファイナンス)の責任者を歴任。2012年3月～2016年3月までリサ・パ

ートナース取締役兼務。リサ・パートナーズが運営する観光活性化マザーファンド、とうきょう活性化ファンド、くまもと創生未来ファンドの投資委員を歴任し、2017年にNECキャピタルソリューションが出資参画するおもてなし山形の取締

役を兼任。2020年5月より淡路島の活性化を目的として、バルニバービと共同投資をしたエナビーの代表取締役社長に就任(兼務)。

●コーディネーター

**秋山 咲恵氏** サキコーポレーション ファウンダー／国家戦略特区諮問会議 議員

サキコーポレーションを創業し、マシンビジョンを使った半導体検査装置メーカーとして世界ブランド構築。国家戦略特区諮問会議議員。「スーパー

シティ構想」の実現に向けた有識者懇談会委員。ソニー、オリックス、日本郵政社外取締役。